携帯2社 審議委員に寄付

値下げ議論、8人に4330万円

携帯電話の料金値下げを議論する総務省の審議会トップや委員の少なくとも8人が過去に、携帯大手NTTドコモやKDDI側から研究寄付金を受け取っていたことが3日、共同通信の取材で分かった。総額は就任前に受けた分を含め、2010年から18年までに計4330万円に上った。いずれも国立大学教員で、個人宛て寄付を大学を通じて受けていた。

【3面に関連記事】

審議会が影響を与える携帯大手側から資金支援を受けていた学者が、委員として議論していることになる。明確な違法性はないが、委員の中立的な立場が揺らぎかねない。総務省は2社から委員への寄付を把握していないと説明しているが、委員2人は自主的に公表していた。

この審議会は総務省の電気通信事業政策部会と下部組織。共同通信は現職委員計28人中10人が所属する国立大学に、委員が受け取った寄付金の情報公開を請求し、金額をまとめた。

部会と下部組織の両方で中心的立場を務める一橋大大学院経営管理研究科の山内弘隆教授が、ドコモとKDDIのグループ企業から研究助成の寄付として計900万円を受領。トップを補佐する相田仁・東京大大学院工学系研究科教授を含む国立大学所属の少なくとも8人が寄付を受けていた。

山内氏は取材に対し、2社を有利に扱ったことはないとし「審議にあたっては中立、公平を信条としている」と文書で回答。相田氏は「行動に影響したり企業が有利になるよう取り計らったことはない」と答え、他5人が影響を否定。1人は3日までに回答しなかった。

13年には不正認識か

勤労統計 厚労省課長、報告せず

毎月勤労統計の不正問題で、厚生労働省の2013～15年当時の担当課長が、不正な抽出調査が行われていると気付いていたことが3日、関係者への取材で分かった。しかし元課長は本来の全数調査に戻すことはなく、上司や総務省にも報告していなかった。

元課長が在任中の14年には、翌15年調査分の調査手法を示したマニュアル（要領）から不正に関する記述を削除した。特別監察委員会もこの事実を把握しているが、1月22日に公表した報告書では聴取内容を基に「元課長に隠す意図はなかった」と結論付けた。いつから不正が認識されていたかは明らかになっていなかった。監察委は隠蔽の意図について再調査で改めて確認を進めている。

報告書によると、不正な抽出調査は04年、企業からの苦情や、実務を担う都道府県への配慮で始まった。

元課長は13年に就任後、不正な抽出調査が行われていることに気付いたが全数調査に戻さず、全数に近づけるためのプログラミング修正も行わなかった。一方、15年の人事異動時に、後任の課長には不正手法を引き継いだ。後任は、統計法違反であることを認識しながらも、負担軽減を求める都道府県との「軋轢」を避けるため「前例を踏襲した」と証言している。

元課長は、それまでの調査要領に記載されていた「規模500人以上の事業所は全数調査としていたが東京都に限り抽出調査としている」との記述を15年分から削除。報告書では元課長が「だいぶ前から抽出調査が行われており、要領に書かなくても良いと考えた」と説明したことなどから隠蔽の意図を否定している。だが削除の直前、勤労統計が総務省のチェック対象に新たに加わっており、不正発覚を恐れた疑いも残っている。

教員の仕事量 どう削減

働き方改革論議 教研集会閉幕

部活指導、地域活動などの簡素化報告

前例踏襲から脱却を

長時間労働の是正策などについて意見を交わす全国の教員たち＝2日、北九州市

学校現場で常態化する教員の「働き過ぎ」は解消できるのか―。北九州市で3日まで開かれた日教組の教育研究全国集会では、教員の働き方改革が大きなテーマになった。長時間労働の是正策を議論してきた中教審は1月、答申の中で時間外勤務の上限規制などを示したが、教員たちは実効性を疑問視。定数増や支援態勢の強化を求めつつ、前例に基づいた「学校あるある」からの脱却を訴えた。

2017年度から、教職員のパソコンによる出退勤管理を始めた新潟県。勤務時間外の業務を記録に残すなど意識して仕事の工夫に取り組んだという小学校の女性教諭(40)は、17年に107時間だった6月の超過勤務時間が18年、68時間に減った。「ただし、本来業務の教材研究はほとんどできず、自宅に持ち帰るなど数字に表れない勤務実態がある」と言う。

別の小学校で教科の年間計画や指導に携わる教務主任、体育主任の昨年6月の超勤はそれぞれ108時間と140時間。いずれも残業時間を「原則月45時間以内、繁忙期でも月100時間未満」とする中教審のガイドラインを軽く超える。

女性教諭は「個人の努力だけでは、多忙化の解消は困難だ」と訴えた。

教員の仕事量が減らないのはなぜか。福島県の小学校教諭、鈴木芳宗さん(41)は「従来やってきた教育活動を続けなければならないという思い込みと周囲の期待がある」と指摘した。勤務時間前のあいさつ運動、毎日の清掃や委員会活動、各種コンクールの取りまとめ、地域行事への参加…。必ずしも必要のないものも請け負ってきた。

鈴木さんは、勤務する学校で毎年行われる水泳やマラソンなどの校内大会を記録会と位置付け、体育の授業内で行えるよう改革を進める。「賞状作成や大会の記録などの業務が簡素化できる。『伝統』を見直す勇気も大事だ」と強調した。

業務改善では他にも多くの実例が示された。鹿児島県の小学校で複式学級の担任を務める男性教諭(50)は、一部教科担任制や研究授業の回数減による負担軽減策を報告。長時間労働の遠因とされる部活動について千葉県の中学校教諭は、各部の基礎体力向上などのため複数の部活動による合同練習を行い、仕事量を減らしていると説明した。

学習指導要領の改定で授業時間数は増え、いじめや不登校など現場の課題は深刻化している。福岡県の小学校教頭(58)は「教員の大変さがようやく注目されるようになった。あくまで子どものことを第一に考えつつ、学校、家庭、地域、行政がそれぞれできることを考えていければ」と話した。（前田英男）

ロシア連行

船長 違法操業を否定

当局「逮捕する可能性」

【ウラジオストク共同】日本海で操業していた島根県のカニ漁船「第68西野丸」がロシアの警備艇に連行された問題で、ロシアの警備当局者は3日「船長が違法操業を否定した。悪質な違反が確認されれば、逮捕する可能性もある」と述べた。

また、在ウラジオストク日本総領事館は同日、極東ナホトカで拘束されている乗組員10人と面会し、健康状態に問題がないことを確認したと明らかにした。

領事館によると、2日に館員が船の中で10人と面会した。食料や水、燃料の補給状況を確認したほか、経緯についても聞き取りをした。

ロシア警備当局者によると、漁船は、ロシアの排他的経済水域（EEZ）に無許可で入り違法にカニ漁をしていた疑いが持たれている。当局が漁船の書類や漁獲物を調べ、違法行為があったかどうかを判断する。捜査には数日以上かかる見通し。

「子ども産まない方が問題」

少子高齢化問題で麻生氏発言

麻生太郎副総理兼財務相は3日、福岡県芦屋町であった後援会の集会で、少子高齢化に伴う社会保障費増に絡み「（年を）取ったやつが悪いみたいなことを言っている変なのがいっぱいいるが、それは間違っている。子どもを産まなかった方が問題なんだ」と述べた。子どもを産まない女性を批判した発言と受け取られる可能性がある。

麻生氏は「大きな問題としては、中長期的に言えば少子高齢化という問題だ」と指摘。「国民皆保険だ。16歳から64歳の人たちの6人で1人の65歳以上の高齢者を支えていた。今は、間違いなく高齢者の比率が高くなっている。平均寿命が延びている。素晴らしいことだ」と説明した上で、「子どもを産まなかった方が問題だ」と発言した。65歳以上への継続雇用の引き上げや幼児教育無償化など「全世代型社会保障改革」の必要性を訴えた。

麻生氏は2014年12月にも、衆院選の応援演説で「高齢者が悪いみたいなイメージを作っている人が多いが、子どもを産まないのが問題だ」と発言。批判の高まりを受け、不適切な発言だったと認め、「誤解を招いた」と釈明した経緯がある。（大坪拓也）

JCBカード一時障害

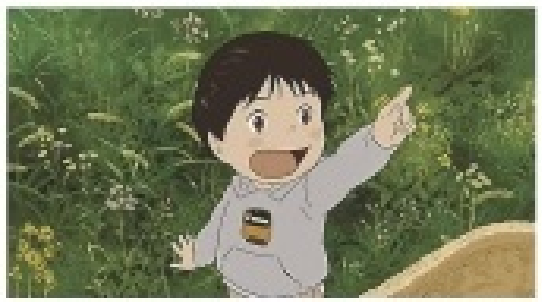
メルカリなど利用者に影響

クレジットカード大手のJCBは2日、午後9時50分ごろから午後10時31分までの間、一部の加盟店でカードが利用できない障害が発生したと発表した。ネットワークの障害が原因で、フリーマーケットアプリを運営するメルカリやJR西日本の利用者に影響した。

JCB以外に、同じネットワークを利用するビザやマスターカードにも影響が出たとみられる。

JCBによると、カード会社と加盟店を結ぶシステムを運営している子会社の日本カードネットワーク（東京）の通信網に障害が起こり、決済ができなくなった。JCBは「お客様にはご迷惑とご不便をお掛けしましたことをおわび申し上げます」としている。

「未来のミライ」に米アニー賞 細田守監督作品



【ロサンゼルス共同】「アニメ界のアカデミー賞」と呼ばれる第46回アニー賞（国際アニメ映画協会主催）の発表・授賞式が2日夜、米ロサンゼルスで開かれ、細田守監督の映画「未来のミライ」＝写真（©2018　スタジオ地図）＝が長編インディペンデント作品賞を受賞した。24日に発表されるアカデミー賞でも長編アニメ賞にノミネートされており、弾みがつきそうだ。

一方、マーベル・コミック作品「スパイダーマン　スパイダーバース」（日本公開は3月8日）は最も注目される長編作品賞をはじめ7部門を受賞した。

「未来のミライ」は4歳男児の成長を描くファンタジー。細田監督は作品で使われた歌手山下達郎さんの曲が流れる中、授賞式の舞台に上がり「この作品は僕の子供がモデル。小さい子供と過ごすことは何て素晴らしいんだと思って映画にした」と笑顔で話し、家族やスタッフに感謝の言葉を述べた。

長編インディペンデント作品賞は米国で1000館未満の映画館で公開された作品が対象。

にわかせんぺい
www.toundo.co.jp

NEWS

■西日本読書感想画コンクール表彰式　第62回西日本読書感想画コンクール（九州・山口各県学校図書館協議会、西日本新聞社主催、JXTGエネルギー特別協賛）の表彰式が3日、福岡市・天神の天神スカイホールであり、最優秀賞5人、優秀賞24人を表彰した＝写真。コンクールには九州・沖縄、山口各県の小中高生から約38万点の応募があった。式では最優秀賞を受賞した福岡県立太宰府高2年、秋枝あやのさん(17)が「より高みを目指して頑張りました。目標に向かって努力することの大切さを、身をもって知りました」とあいさつした。

■[illegible]　囲碁の第43期棋聖戦7番勝負の第3局は2、3の両日、長崎県西海市で打たれ、井山裕太棋聖(29)が252手で挑戦者の山下敬吾九段(40)に白番中押し勝ちし、対戦成績を2勝1敗とした。

到津　伸子さん（いとうづ・のぶこ＝画家、作家）1月31日午前1時51分、すい臓がんのため東京都江東区の病院で死去、71歳。東京都出身。葬儀・告別式は近親者で行った。喪主は親族中山雅仁（なかやま・まさひと）氏。

東京芸術大を卒業後、パリと東京を拠点に絵画を制作。03年「不眠の都市」で講談社エッセイ賞を受けるなど執筆も手掛け、近く初の小説を刊行予定だった。

丹羽　勝海氏（にわ・かつうみ＝声楽家、日本大芸術学部元教授）1月29日午前11時9分、うっ血性心不全のため東京都文京区の病院で死去、80歳。横浜市出身。葬儀・告別式は8日午前10時から東京都新宿区上落合3の34の12、落合斎場で。喪主は長男一貴（かずき）氏。

テノール歌手の第一人者として知られ、「蝶々夫人」「天国と地獄」をはじめ多くのオペラ作品に出演した。